



暖かい日、寒い日を繰り返し、一步一步春が近づいています。ブロックや人形で遊んだり、走ったり、踊ったりと子どもたちは元気いっぱいです。

今年の冬は、あまり雪が降らず雪遊びが少ししかできませんでしたが、子どもたちの体調をみて外へ遊びに行く子と室内で遊びをする子と分かれて遊びました。園庭では、保育士や友だちと「待て待て！」と追いかけっこを楽しんだり、“三匹の子ぶたの滑り台”を楽しそうに何回も繰り返し滑ったり・・・と寒さに負けず、元気いっぱい体を動かしていました。また、雪を触って「冷たい！」という表情をしたり、丸めて「えい！」と雪を投げて冬の自然にも触れて遊びました。また室内では、友達の遊びに興味を持つようになり、持っていた絵本やおもちゃをあげようと渡したり、顔を見合わせてにっこりと笑ったり関わる姿が見られるようになりました。



できるかな・・・！？



最近、靴下や靴を自分で脱ごうとしたり、ズボンを自分で履こうとしたりする姿が見られるようになってきました。上着は、袖から腕を抜いてあげると、自分で頭を出し「ばあ！」と言って脱いでいます。できないと「あ～！うう～・・・」と唸っていることもあります。できない時は、さりげなく手助けをすると“自分でできた！”と笑顔を見せています。

また、食事の時には、“これは何？”と指を指す子ども達に「人参あったね」「お芋だよ」「おいしいね」等、お話をしながら楽しく食べています。スプーンの持ち方やお皿に手を添える事等、食事のマナーも少しずつ出来るようになっていきます。まだまだ自分でできずに思い通りにいかないことや一人では難しい部分もありますが、「自分でやりたい！！」という気持ちを大切に、一生懸命にやってくれたことへの喜びや楽しさを味わっていただけたらいいと思います。これからの成長が楽しみです。

お雛様とお内裏様作ったよ！！

お雛様とお内裏様と作りました。子どもたちは楽しそうに指スタンプをしたり、真剣な表情をして顔に目や鼻を描いていました。完成して「上手にできたね！」と声を掛けると自分で拍手をしてできたことを喜んでいました。玄関ホールの天井から色々な表情の可愛らしいお雛様とお内裏様がつるされています。どうぞご覧下さい。

